

事業所名                    でいさーびす   あいりんご8

支援プログラム（参考様式）

作成日                    R7            年            4            月            28            日

法人（事業所）理念		「楽しい・安心できる・使命感」をテーマに重点を置いています。 まず、楽しい気持ちを持つためには、同じ目線に立って自分も一緒に楽しむ。 次に安心できる気持ちを持つためには、もしも相手が自分の家族や友達だったらと思って接することです。 最後に使命感は、“自分だから” “自分しかできない” という気持ちをもって行動する。			
支援方針		楽しい・安心できる・使命感を持った支援 1. 楽しい（Enjoy） ・子どもたちが「また来たい！」と思える環境を提供する。            ・個々の興味や得意なことを活かした活動を取り入れ、遊びや学びを通じて成長をサポートする。 ・笑顔とポジティブな関わりを大切にし、スタッフ自身も楽しむ姿勢を持つ。 ・支援活動には遊びやクリエイティブな要素を取り入れ、子どもたちが自然体に関われるようにする。 ・笑顔や対話を大切にし、日々の小さな成功体験を共有・称賛する。 2. 安心できる（Safety & Trust） ・子どもが自分らしく過ごせる「心の居場所」をつくる。            ・スタッフは温かく寄り添い、一人ひとりの気持ちに丁寧に向き合う。 ・失敗を恐れず挑戦できる環境作り。            ・一人ひとりの違いを尊重し信頼関係を大切にしていく。 ・安全管理を徹底し、保護者も安心できる環境を整える。            ・プライバシーの配慮や物理的・心理的な安全確保。 3. 使命感（Commitment） ・子どもたちの未来を支える存在として、成長や自立を後押しする支援を行う。            ・一人ひとりの個性を尊重し、可能性を広げる支援を考え続ける。 ・専門性を高め、チームワークを大切にしながら、より良い支援を追求する。            ・自己の役割や意味を見出せるような環境づくり。  この3つの柱を軸に、子どもたちの笑顔と成長を支える場所を目指します			
営業時間		9            時            0            分から            18            時            0            分まで		送迎実施の有無	<div>あり</div> なし
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・遊びや運動を通じて、自然と体を動かす機会を増やす。（リズム遊び、体操、屋外活動） ・定期的に手洗い・うがいの習慣を促し、感染症予防を徹底。 ・歯磨きや手洗いを習慣化するための「見本活動」や「ロールプレイ」を実施。 ・保護者とも連携し、日常生活の中で健康的な習慣が定着するよう支援。 ・基本的生活習慣の支援 ・リラク্সタイムの導入			
	運動・感覚	・遊びの中で運動を促す（鬼ごっこ、ボール遊び、ダンス、障害物レースなど） ・リズム運動や音楽を活用（リズムジャンプ、音楽に合わせたストレッチ）            ・子どもの興味に合わせた活動を提供（スポーツ、ダンス、ヨガなど選べる運動メニュー） ・感覚を刺激する遊びを提供（シャボン玉遊び、スライム遊び、水遊び、砂遊びなど） ・体を動かしながら感覚統合を促す（トランポリン、ブランコ、マット、平均台、スクーターボード） ・視覚・聴覚に配慮したリラクックスペースを設置（落ち着けるクッションコーナーなど）            ・手指の巧緻性を育てる（おはじき・ビーズ通し・ハサミ・折り紙） ・書字に必要な運筆力の向上（なぞり書き・点つなぎ・迷路）            ・お箸やスプーンの使い方練習            ・空間の構想力や手先の計画力を育てる（パズル・積み木・レゴ）			
	認知・行動	・遊びを通じた学習支援（パズル、カードゲーム、クイズ、プログラミング的思考を育む遊び） ・五感を使った活動（料理体験、科学実験、お買い物ごっこで数の学習） ・興味関心に沿った学び（好きなものをテーマにした図鑑作り、観察活動） ・一人ひとりの発達や理解度に合わせた学びのペースを設定。 ・視覚的支援を活用（スケジュールボード、絵カード、タイマーなど）し、見通しを持って取り組めるようにする。 ・音声指示・視覚支援（写真・絵・カード）で理解を助ける。            ・場面ごとのルールを具体的に提示する。            ・失敗を恐れず挑戦できるよう、成功体験を積み重ねる。			
	言語 コミュニケーション	・ルールや約束をわかりやすく提示（イラストや写真を使った視覚支援）。 ・気持ちのコントロールをサポート（感情カードを使い、自分の気持ちを表現する練習）。 ・社会で役立つ行動スキルを育てる、SSTで練習（挨拶、順番を守る、身の回りのことを自分でやる）。 ・ことば遊びを通じた学習（しりとり、なぞなぞ、絵本の読み聞かせ、かるた遊び）            ・ふわふわ言葉、ちくちく言葉の理解 ・音声やリズムを使った活動（手遊び歌、リズムに合わせた発声練習）            ・絵カードを活用した語彙力アップ（イラストを見て言葉を当てるクイズ） ・話す量・速さ・大きさの調整、相手に応じた話し方の理解            ・会話の「きっかけ」「続け方」「終わらせ方」のパターンをロールプレイで学ぶ。			

	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"><li>・無理に友だちと関わらず、一人ひとりのペースを尊重。</li><li>・一人できない活動を通して協力する力を育む</li><li>・「関わりが苦手な子」に対しては、間接的な関わり（並んで遊ぶ、共通の遊びを楽しむ）からスタート。</li><li>・スタッフが間に入りながら適切な関わり方をサポートし、人とのやりとりの成功体験を積む。</li><li>・お店やさんごっこ、バスの乗り方練習など、社会的ルールを学ぶ遊びを実施。</li><li>・「ありがとう」「ごめんなさい」を伝える練習を楽しく（お礼の手紙作り、感謝のメダル作り）。</li><li>・役割を持って活動する経験を増やす（当番活動、イベントの司会など）。</li></ul>		
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・家庭でできる遊びや学びのアイデアを提供（簡単な運動遊び、感覚遊び、コミュニケーションゲームの紹介）。</li><li>・子どもの得意なことや好きなことや成功体験を共有し、家庭での会話のきっかけを増やす。</li><li>・「一人じゃない」と感じられる環境を作り親が安心して子育てできるよう支援。</li><li>・家庭と地域全体で子どもの成長を支えられるネットワークを構築。</li><li>・「親が笑顔でいることが、子どもの成長につながる」ことを意識し、家庭の負担を減らす支援を行う。</li><li>・「できない」ではなく「まだ練習中」の視点を伝え、不安を軽減</li><li>・悩みを話せる場や情報交換の場の提供</li></ul>	移行支援	<p>子どもたちが次のステップ（小学校から中学校、中学校から高校、または就労・自立に向けた準備）へスムーズに進めるようサポートすることを指します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新しい環境への期待を高めるプログラム</li><li>・環境の変化に適応できるよう、事前に見通しを持たせる</li><li>・「できること」を増やし、自信を持って進学できるようサポート。</li><li>・学校や家庭と連携し、一貫した支援を提供（個別の支援計画に基づいた移行支援）。</li><li>・子どもが「次のステップへ進むこと」に前向きになれるよう支える。</li><li>・他機関連携による「切れ目のない支援体制」を構築</li></ul>
	地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の支援機関と連携し、家庭が使える支援サービスの情報を提供。</li><li>・子どもが家庭・学校・地域で一貫した支援を受けられるようにする。</li><li>・地域社会の理解を深め、障害のある子どもたちが安心して暮らせる環境を作る。</li><li>・他機関連携による「切れ目のない支援体制」を構築</li></ul>	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・職員同士で学び合う社内研修</li><li>・外部研修への参加促進（発達障害、感覚統合、行動支援、虐待防止、家族支援など）。</li><li>・「子どもと一緒に楽しむ」ことを大切にする文化をつくる（職員もイベントに積極参加）。</li><li>・「支援のプロ」としての自覚を高め、専門性を深める環境を整備。</li></ul>
	主な行事等	<ul style="list-style-type: none"><li>・初詣・節分・運動会・遠足・クリスマス会・全事業所合同活動など</li></ul>		